

掛川お茶大使 & 日本茶インストラクター

吉岡亜衣加のお茶の間通信

お茶摘み後のお楽しみ♪
産地ならではの食べ方に感動です

今回は、きらきら保育園の皆さんと東山区のお茶畑でお茶摘みをしたご報告をさせていただきますが、この後にまだお楽しみがあるということで私も同行させていただくことにしました。

お茶畑から東山いっぶく処に移動してみんなでシートに丸くなって座って待っていると、先ほど摘んだばかりのお茶の新芽を天ぷらにしたものが運ばれてきました！先生が「そのまま食べたい人？抹茶のお塩で食べたい人？」とそれぞれの食べてみたい味を聞きながら配ります。摘みたての茶葉を天ぷらで食べられ



摘んだばかりの茶葉が天ぷらに♪



園児の皆さんは「食べるとお茶のにおいがする」「ちょっと苦いけどおいしい」「もっと食べたい」など感想を言いながら、食していました。

るなんて、お茶の産地ならではのなんともせいたくな食べ方です。それも自分たちで「二葉、三葉、丁寧に摘んだ茶葉ですの」で思い入れもありますね。「食べるとお茶のにおいがする」「ちょっと苦いけどおいしい」「もっと食べたい」など感想を言いながら、持参したおにぎりとともに食していました。私もお裾分けしていたいただき、ほっくりとした甘みとほろ苦いお茶の葉の天ぷらに感動しました。一口食べるとお茶の香りがふわっとさわやかで、お茶摘みをしていただいた先ほどのことを思い出します。この日のお礼に「茶摘み」を歌わせていただきましたが、歌詞と園児の皆さんとお茶摘みの様子が重なり感慨深いひとときでした。食事の後は掛川



同行させていただいたお礼に「茶摘み」を歌わせていただきました♪

茶を飲み園児の皆さんもほっと一息。そして翌日には、この日摘んだ茶葉を自分たちで製茶するのだとお話を聞きました。お茶を摘むところから製茶までの一連の流れをじっくりと体験できるので、子供の頃から掛川茶に深く触れることができるなんてすてきなあと感じました。私もお茶を通じて皆さんと温かいやりとりができてとっても幸せでした。ありがとうございました。

私もお裾分けをいただきました。ほっくりとした甘みとほろ苦いお茶の葉の天ぷらに感動です。

